



令和9年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

令和8年8月13日

上場会社名 フジプレアム株式会社

上場取引所 東

コード番号 4237 URL <https://www.fujipream.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松本倫長

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部 部長

(氏名) 三村崇裕

TEL 079-266-6161

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和9年3月期第1四半期の連結業績 (令和8年4月1日～令和8年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
9年3月期第1四半期	3,561	77.3	37	—	40	—	40	—
8年3月期第1四半期	2,008	△22.1	△59	—	△59	—	△6	—

(注) 包括利益 9年3月期第1四半期 85百万円 (—%) 8年3月期第1四半期 △3百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
9年3月期第1四半期	1.42	—
8年3月期第1四半期	△0.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
9年3月期第1四半期	14,524	7,580	52.2
8年3月期	14,639	7,666	52.4

(参考) 自己資本 9年3月期第1四半期 7,580百万円 8年3月期 7,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
9年3月期	—				
9年3月期 (予想)		0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和9年3月期の連結業績予想 (令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,800	70.1	454	—	455	—	286	10.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	9年3月期1Q	29,786,400 株	8年3月期	29,786,400 株
② 期末自己株式数	9年3月期1Q	1,211,561 株	8年3月期	1,211,561 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	9年3月期1Q	28,574,839 株	8年3月期1Q	28,574,839 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料] 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、原材料価格や人件費の上昇等により先行き不透明な状況が続きました。海外においては、米国経済は底堅さを維持したものの、中国経済の減速や各国の金融政策、地政学的リスクの影響等により、不確実性が継続しました。

このような環境の中、当社グループでは、独自の精密貼合技術を核とした高付加価値製品の開発及び用途拡大を推進してまいりました。ディスプレイ量産案件の売上拡大等により、売上高及び利益は前年同期を上回りました。一方で、当該案件の立上げに伴う初期費用の発生やエンジニアリング部門の受注が低調に推移したこと等が、収益性に影響を及ぼしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高3,561百万円（前年同期比77.3%増）、営業利益37百万円（前年同期は59百万円の営業損失）、経常利益40百万円（前年同期は59百万円の経常損失）を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は40百万円（前年同期は6百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

精密貼合及び高機能複合材部門

国内外のディスプレイ及びタッチパネル市場では、需要回復の動きは限定的であり、特に車載用途においては低調に推移しました。このような事業環境のもと、当社グループは、精密貼合技術の高度化や先端設備・新素材を活用した製品開発に継続して取り組みました。ディスプレイ量産案件の開始により売上が拡大したことから、前年同期比で増収増益となりました。一方で、当該案件の立上げに伴う初期費用の発生や製造コスト等が、収益性に影響を及ぼしました。

この結果、売上高2,910百万円（前年同期比119.6%増）、営業利益42百万円（前年同期は33百万円の営業損失）となりました。

環境住空間及びエンジニアリング部門

国内太陽電池市場においては、従来型パネル分野を中心に海外メーカーとの競争が引き続き激しく、事業環境は厳しい状況が続きました。当社グループでは、従来製品のコスト最適化や建材一体型太陽電池の生産体制強化に取り組みました。ペロブスカイト太陽電池については、中長期的な事業化を見据え研究開発を推進しております。エンジニアリング部門においては、設備投資環境に一部持ち直しの動きが見られたものの、半導体関連装置の需要回復遅れや顧客の投資慎重姿勢を背景に、受注が低調に推移いたしました。当社グループは、新装置開発や新規案件獲得に注力し、将来需要を見据えた営業活動を推進してまいりましたが、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、売上高650百万円（前年同期比4.7%減）、営業損失4百万円（前年同期は28百万円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は8,298百万円となり、前連結会計年度末に比べ160百万円の減少となりました。これは主に売掛金の増加705百万円があったものの、現金及び預金の減少564百万円、原材料及び貯蔵品の減少375百万円があったことによるものであります。固定資産は6,226百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円の増加となりました。これは主に建物の減少52百万円があったものの、投資有価証券の増加65百万円、土地の増加55百万円があったことによるものであります。

この結果、総資産は14,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ114百万円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,090百万円となり、前連結会計年度末に比べ141百万円の増加となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の減少81百万円があったものの、買掛金の増加268百万円があったことによるものであります。固定負債は853百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少156百万円があったことによるものであります。

この結果、負債合計は6,944百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は7,580百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少130百万円があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.2%（前連結会計年度末は52.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和8年5月15日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,843,034	4,278,843
受取手形	—	367
売掛金	1,382,648	2,087,867
契約資産	388,463	495,815
電子記録債権	307,798	164,969
商品及び製品	8,486	7,037
仕掛品	256,194	418,256
原材料及び貯蔵品	1,219,006	843,173
その他	237,118	186,096
貸倒引当金	△184,195	△184,195
流動資産合計	8,458,556	8,298,231
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,522,599	2,469,894
土地	2,581,252	2,636,252
建設仮勘定	0	1,006
その他（純額）	83,721	85,027
有形固定資産合計	5,187,572	5,192,180
無形固定資産		
その他	1,471	1,437
無形固定資産合計	1,471	1,437
投資その他の資産		
投資有価証券	821,045	886,616
その他	173,745	149,178
貸倒引当金	△2,662	△2,662
投資その他の資産合計	992,127	1,033,132
固定資産合計	6,181,171	6,226,749
資産合計	14,639,728	14,524,980

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	29,720	8,850
買掛金	2,071,836	2,340,149
電子記録債務	321,004	337,838
短期借入金	2,080,000	2,080,000
1年内返済予定の長期借入金	1,086,919	1,005,256
未払法人税等	41,056	8,636
賞与引当金	28,810	27,500
製品保証引当金	7,945	5,941
その他	281,632	276,008
流動負債合計	5,948,925	6,090,180
固定負債		
長期借入金	657,752	500,891
退職給付に係る負債	77,299	72,343
その他	289,097	280,713
固定負債合計	1,024,149	853,947
負債合計	6,973,074	6,944,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,519,077	2,519,077
利益剰余金	3,836,231	3,705,312
自己株式	△863,930	△863,930
株主資本合計	7,491,387	7,360,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175,265	220,384
その他の包括利益累計額合計	175,265	220,384
純資産合計	7,666,653	7,580,852
負債純資産合計	14,639,728	14,524,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
売上高	2,008,529	3,561,041
売上原価	1,745,457	3,223,043
売上総利益	263,071	337,998
販売費及び一般管理費	322,686	300,087
営業利益又は営業損失(△)	△59,614	37,911
営業外収益		
受取利息	783	2,901
受取配当金	6,461	10,409
固定資産賃貸料	3,505	3,293
その他	1,743	3,319
営業外収益合計	12,494	19,924
営業外費用		
支払利息	8,339	10,041
為替差損	3,099	5,854
その他	1,438	1,457
営業外費用合計	12,878	17,353
経常利益又は経常損失(△)	△59,998	40,482
特別利益		
固定資産売却益	31,498	—
特別利益合計	31,498	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△28,500	40,482
法人税、住民税及び事業税	1,318	1,152
法人税等調整額	△23,542	△1,199
法人税等合計	△22,223	△47
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,276	40,529
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,276	40,529

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,276	40,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,759	45,118
その他の包括利益合計	2,759	45,118
四半期包括利益	△3,517	85,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,517	85,648

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境住空間及び エンジニアリング 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,325,373	683,155	2,008,529	—	2,008,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	600	—	600	△600	—
計	1,325,973	683,155	2,009,129	△600	2,008,529
セグメント損失(△)	△33,778	△28,844	△62,623	3,008	△59,614

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	精密貼合及び高 機能複合材部門	環境住空間及び エンジニアリング 部門	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,910,290	650,750	3,561,041	—	3,561,041
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,739	6,739	△6,739	—
計	2,910,290	657,490	3,567,781	△6,739	3,561,041
セグメント利益又は損 失(△)	42,549	△4,638	37,911	—	37,911

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
減価償却費	122,892千円	59,624千円